

Tr2 正常位セックス 5678文字

※このトラックはセックスを特別視せずに、淡々とえっちなことに進んでいく感じですよ。

また、行為中は

痛みや行為の気持ちよさはあるが、それをあまり見せずに余裕を見せながら様子をうかがってくる
といったトーンでお願いします！

(快樂をメインにするのはLJのいちやらぶセックスからです)

てst

S田：廊下をゆっくり歩く音、二人横並びで

(隣同士で歩く)

【位置：やや右 距離：近】

ん……。

……ここが4階校舎ですか。
なるほど、初めて来ました。

(辺りを見渡しながら独り言のように)

右手が音楽室と美術室……。

で、こっちは例の空き教室ですか。

(独り言が聞こえてたことを意外そうに)

……えっ、ああ、そうですね。

入学したばかりなので、選択科目はまだでして。
たしか、夏から……？だったような気がします。

(少し小声でぼそっと、でも内心は踊っている感じで)

楽しみですね、音楽。割と好きなので。

(恥ずかしさを感じながら)

はは。

そういえば話したこと無かったでしたっけ。

あんな密室で二人一緒にいたのに、本を読んでもただでしたもんね、私達。

（歩きながら、少し間を開ける）

……。

えと、ここ、ですかね？

空き教室。

なんか、目の前になると独特のオーラを感じますね。

ただの教室に入るだけなのに、いけないことをするみたいな。

ええ、まあ。いけないことはするんですけど。

じゃ、中、入りましょうか。

んっ……。

SE:教室のドアを開く音

（移動が完了し向き合う形に）

【位置:中 距離:やや近】

（教室を歩く）

……。

SE:数秒、教室全体を歩く音

（台詞ではなく臭いを嗅ぐ感じで）

すんすん、すんすん。

(見渡しながら、ゆっくり)

臭いもいかにもってかんじですね。
生活臭なんてないはずなのに、なぜか鼻を刺激してくるような。
んっ、小さなホコリが床に落ちてたり……。

(ゆっくりから通常のトーンに戻る)

少し移動しただけなのに、すごく寂しくなりました。
先輩はここ、使ったことあるんですか？

……へえ、そうなんすね。

(納得するように独り言)

となると、本当にずっと使われないんだ。

……でも、これなら安心できますね。

ほら、今更興味本位で覗きにくる生徒も居ないでしょうから、いくら音だしても。
遠慮なくできるじゃないですか。

【位置：やや右 距離：近】

はは、今、ぴくつとしました。

猫背の先輩が、体をぴんとして……

【位置：やや右 距離：密着】

(囁きながらからかうトーンで)

それに、……この音もさっきより……
どくんどくん、って。

……今からこの場所、眼の前ですること、想像してますか？

その机で、私が横になって、その体を先輩は乱暴に、ガシッガシ……。

私が「やっぱり無理です」って泣いてもお構いなしに、射精がこみあげてくるまで、奥に奥に打ち付けて……。

【位置：やや右 距離：近】

（距離を戻してからかうように）

……先輩。

鼻息、すごいです。

ひどいですね。

そんなこわい妄想で興奮しちゃうなんて。

【位置：中 距離：近】

……じゃ、早速ですけどみましょうか。

えっちなこと。

我慢の限界みたいですし。

私、下脱ぎますから。

先輩も自分で用意してもらえますか？

はい、だからその。

おちんぼ。

出しておいてもらえますと。

……ん、ありがとうございます。

それじゃ。

SE：スカートと下着を脱ぐ

んっ……。

んっ、んっ……。

んっ、と……。

んっ、脱げました。

(落ち着かない様子でありつつも、めっちゃ恥ずい！という感じではないです)

流石に少し、緊張しますね……。

私がお願ひしたことですけど、教室で人に見せたことがない姿……。

先輩はどうですか？

……って。がちがちじゃないですか、それ。

血管も見えて、さきつぽ、天井の方にそりたってますけど……。

そんなに楽しみなんですね。

(こは一人ごとのように、少しトゲがある感じで)

私にはまだ、よく分からない感覚ですけど……。

どうでしょうか。

教室だと、出来る体位とか、限りがあるでしょうけど。

えと、机での正常位とか、椅子に座って騎乗位とか……。

なにかしたいこととか、あります？

(躊躇するような仕草は見せずスムーズな感じで)

正常位……。

私が机に横になって、先輩は立ったまま打ち付ける……。

んふ、いいですよ。

クラスの子がそれ、よく話してるので助かります。

……えん？

ああ、いつもそんな感じですよ、みんな。

恋人とのえっちが気持ちよかったとか下手くそだったとか……。

意外、なんですかね？

そういうものだと思ってましたけど……。

……えと、じゃあ、準備しますので、少々おまちください。

S田：机の上に寝転ぶ、机が軽く軋む音

(机の上で受け入れ態勢に)

【位置：中 距離：近】

(主人公をゆっくり見つめながら、落ち着きつつもゆっくりとしたトーンで)

んつと……。

んっ……。

はは、これすごい変な感覚です……。

ただでさえこんな格好、体が敏感なのに、

机の冷たい感覚とか、この照明の明るさとか……。

少し、ときどきします。

……来てください、先輩。

私のこの、広げてる足の前に……。

S田：主人公が歩く音、衣擦れ

ふふっ。

おっきいですね。

先輩の体で、視界、真っ暗になってしまいました。

……えと、それでそのまま、私の体、掴んでもらえますか？。

多分、先輩の力で固定したほうが動きやすいでしょうし……。

んっ、んっ……。

大丈夫です、痛くは無いです。

でも、やっぱり先輩も男の人なんだなって。

優しくしてもらってるのに、なんか、身体の芯が掴まれてるみたいで……。

(少し余裕を見せた表情でからかうように)

これじゃ私、逃げられないですね。

(一息のんで落ち着けてから)

……。

じゃあ先輩。

そのまま私のに腰を打ち付けたら、童貞卒業ですよ。

知っでの通り私も初めてですけど。

(トーンを通常に戻しじれったそうに)

……あの。

どうしました？

……今更確認なんて、良いんですって。

もう、戻れないですよ？先輩も。

おっきくなったそれと、目の前で身体を差し出してる女の子……。

(再びゆっくりとしたトーンに)

私も、大事な目的がありますし……。

それに初めての大切さとかも、よくわからないので……。

はい、どうぞ……。

入れてください、それ、私のなかに……。

※ここから行為に入るので、「呼吸は入れつつも余裕あり気な感じ」でお願いします！

んっ、んっ、んっ……。

んんんんっ、はぁ……、っ、はぁ……。

SD:挿入

(痛みを感じながらも)

っ、はぁ、はぁ……。

来ました、先輩の……

んっ、ふふっ、おめでとございます、先輩。

んっ、童貞卒業……。

はぁ、はぁ……。

どうですか？

この中、初めてのおまんこ……。

一番深いところまで、おちんぼを入れた気分……。

ふう、はぁ……。

はは、もうおちんぼ、いれただけなのに中でぴくぴく……。

そっか、そうですか。

気持ちいいんですね。

んっ、はぁ……はぁ……。

あの、先輩。

何かその、感じたら言ってくださいね。

そういう話とか、なると思いますので……。

っ、ふう……。

はい、お願いします。

はあ、はあ……。

じゃ、いいですよ。

動いてください……。

私の身体、中でぴくぴくしてるこれ……。

んっ、はあ……

気持ちよくするために、使ってください……。

5. 5. ピストン開始(ゆっくり)

ん……。

んっ、んっ、っ、はあ、んっ、んっ、んっ、っ、はあ……はあ……はあ……。

ふふっ、して、ますね……う？

……セックス。

ぱんぱんっ、えっちな音……。

教室いっぱい響いてますよ。

んっ、っ、ふう、はあ……。

良かったですね……。

こんなこと出来て。

後輩女子においかぶさって、んっ

おまんこの中、ねっとりかきまぜるみたいに……。

んっ、んっ、ふう、はあ……。

ほら、ちゃんと言ってく下さい。

そんな、満足そうな顔、近くで見せてないで、

どこが気持ちいいとか、教えてくれないと……。

んっ、んっ、んっ、んっ、はあ、はあ……。

んふっ、おまんこのヒダヒダ、ですか？

それが、まわりついて……。

なんかえつちな表現ですね、それ……。

んっ、ああでも先輩、そういうの、好きそうですもんね。

ふう、はあ……。

んっ、でも、そう、ですか……。

この、真ん中あたりの、ですかね……。

先輩の……んっ、はあ……、傘みたいな、クビレの少し下あたりの……。

んっ、んっ……。

なるほど、ありがとうございます。

具体的に教えてもらって。

ん……。

んっ、んっ、んっ、ふう、はあ……。

もう、先輩……。

さっそくそこばかり狙って……。

童貞とは思えない腰使い……。

んっ、んっ、ふう……。

んふ、練習でもしてたんですか？

女の子の身体、自分の好きなように使う妄想で……。

んっ、っ、ふう……。

どうぞ、好きに……。

私は、セックスの経験さえ出来れば……。

何が気持ちいいのかとか、んっ、どうやってするか、とか……。

だから、そのまま使ってください……。

私もまあ、気持ちよかったりはするので……。

っ、ふう……はあ……。

(嬉しそうに反応する主人公を見て意外そうに)

え？まあ、少しは……。ですけど……。

(急に速度を上げられ声が出る)

んっ、はあ、あっ、んっ、んっ、んっ、ふう、んっ……。

あ、あの……。

先輩、速度……。

んっ、んっ……

そんな勢い、机から落ちそうなのでちよつと、怖いですって……。

っ、はあ……はあ……。

(一旦ピストンを止める)

謝らなくても、いいですけど、

急に、んっ、どうしたんですか？

ふう、はあ……。

気持ちよくさせたかったって……。

そんな、いいですから……。

ちよつとした生理現象、漏れてしまっただけなので……。

ほら、もとのスピードでしてください……。

セックスは逃げませんから。

(元のスピードに戻る)

んっ……。

んっ、っ、はあ、はあ、はあ、んっ、んっ、ん……。

その調子ですよ、先輩。

さっきのその、ヒダヒダ、おちんぼですれて、んっ……。

気持ちいいですから。

そのまま……。

んっ、んっ、ふう、はぁ……。

(おい被さって顔が目の前に)

【位置：やや左 距離：密着】

先輩、顔、近いです……。

おちんぽもさつきより深く……。

子宮の壁が、んっ、突き破られてるみたいに……。

はぁ……はぁ……。

私の感じてる顔で、興奮してるんですか？

んっ、んっ……。

ふう、そうですか……。

こんな、狙った女を、んっ、マーキングするみたいな体勢で、ねっとり深くまで……。

おちんぽをおまんこにねじ込むたびに、

んっ、あっ、はぁ……。

たまたまは私のおしりに。ぺち。ぺちと……

もう、そのおっきな体で、視界塞がれてしまってますし……。

っ、ふう……ふう……。

私たち、久しぶりに会ったばかりなんですけどね……。

といつても、もとから話すような間柄でも……。

はぁ、はぁ……。

いいですよ、気にしないで。

いっはい。ぽ。ぽ。ぺち。ぺちしてくださる……。

奥までついて、私のことも、気持ちよくしてみてください……。

んっ、あっ、んっ、ふう……。

他にも、したいことがあったら、なにか……。

(置い被さる状態から見つめ合う体勢に)

んっ、んっ、んっ、んっ、んっ……。

ん、おっぱい………？

んっ………。それも、いいですけど。

ただ私、この体勢だと動きづらいので……。

先輩から服をずらしてもらえますか………？

はあ、はあ………。

はい、お願いします………。

んっ、っ、ふう、はあ………。

んっ、ふふっ、先輩の顔、すごいことになってますよ………。

これ、好きなんですね。

私のおっぱい………。

んっ、んっ、んっ………。

おつきくて綺麗………ですか。

私にはちよっと、良さはわかりませんが………。

どうぞ、揉むなり焼くなりしていただいても………。

んっ、はあ、んっ、んっ、ふう、はあ、はああ………。

手つき、すごくやらしいです………。

気遣いのない、激しい手つき………。

丸ごと驚掴みにされたり、形、変えられるみたいに深くまで指が………。

んっ、んっ、っ、ふう、はあ………。

もう、ケダモノみたいですわね………。

さっきまで遠慮してた先輩が、今ではおまんこも、おっぱいも好き勝手………。

んっ、ふう………。

私の身体の中も、おちんぼのびくびくで、脈を打たされてしまっ………。

っ、はぁ、はぁ……。

でも、これがセックス、なんですかね……。

いつも話に聞いてた……。

少しの吐息も、直接あたってくるくらいに密着して、

お互いの身体、んっ、強くもとめる……。

んっ、んっ、ふう……はぁ……。

(少し小声で顔を背けるように)

私のも、おちんぽを離さないみたいにな、んっ、ひくついてしまってますし……。

はぁ……はぁ……。

あの、先輩……？

もっと、強くしてもいいですよ……。

んっ、んっ、そうやってされるの、私の身体、反応するみたいなので……。

まだちょっと、理解は出来ないですけど……。

※ここから先はラストスパートに向け喘ぎを多少強めに

【位置：やや右 距離：密着】

んっ、っ、はぁ、はぁ、はぁ、んっ、んっ、ん……。

入口から……んっ、あっ、ふう、奥まで一気に激しく……。

ふう、ふう……。

はは、すごい音、鳴ってます……。

乾いた肉の音だけじゃなくて、汗、とか……。

私の中から溢れてる、えっちなおつゆ……？とか……。

ちゅぷちゅぷって、セックスだけでしか聞かない音……。

下の階にはまだ、たくさんの方がいると思いますけど……。

私達だけは、こんな……。

んっ、はぁ、んっ、んっ、んっ、ふう、んっ、ふう、はぁ、はぁ、はぁあ……。

あの……。

そろそろ、出そうですか？

中でおちんぽ、膨らんでます……。

背徳感でいっぱい、愛情のない、気持ちよくなるためのセックス……。

んっ、っ、んっ、んっ、ふう……はぁ……。

んふっ、声も……。

あんあんって、女の子みたいに……。

私よりも喘いじやってる先輩、不思議な感じです……。

んっ、あっ、はぁ、はぁ……。

それじゃ、先輩。

最後は、さつきみたいに……っ、ふう、早くしていいですから、セックスの感想、教えながら射精してください……。

※ラストスパート、呼吸音強めで

んっ、んっ、んっ、っ、ふう、んっ、んっ、はぁ、んっ、んっ、ふう、はぁ……。

んっ、中、はげしっ……。

んっ、んっ、はぁ、んっ、んっ、ふう、はぁ……。

机、がたがた震えてます……。

んっ、っ、ふう……。

良いですよ、先輩……。

そのまま気持ち良い気持ち良い言いながら、

私の中に出してください……。

童貞卒業精液、ぱんぱんえっちな響き立てて、

子宮めがけて出してください……。

んっ、んんん……っ。

んっ、んっ、っ、あっ、はぁ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ……。

はぁ……。

はい、お願いします……。

んっ、んっ、んっ、んんっ、んっ、っ、んんっ……

SE:射精

(ゆっくり呼吸しながら落ち着いていく)

ふう、ふう……

ん……。

っ、はぁ、はぁ……。

ぁ、はぁ……。

出てます、精液……。

私の中で、あったかいのがたくさん……。

ふう、はぁ……。

子宮の中で、先輩のがうごめいてるの、わかります……。

ふうふう。

(見つめあう体勢に戻る)

【位置:近 距離:近】

(呼吸は落ち着き、繋がったままからかう)

ふう……。

どうでしたか……？

初めてのえっちで、おまんこの中に出すの……。

自分の手じゃない、女の子の身体で射精するの……。

……ん、そうですか、なら良かったです。
まあ、射精するとき、先輩すごかったですもんね。
理性の欠片もない、雄叫びみたいな声。
何かに乗っ取られてしまったのかと。

んふ、しましたよ。

自分で気づきませんでした？

だってほら、これ、見てください……？

私のことを必死に犯してる、先輩の姿。

SD:スマホの録画を再生する音

いつの間になって、気持ちよさそうに声を出してたときから……？

大丈夫ですよ、悪用はしないので。

ただ、セックスの感想を忘れないために……。

それから、先輩がこのことを他の人に漏らさないように……？

……ん。

なので、これからもする時は毎回、こうやって写真を撮らせてもらいますね。

です、これからも。

お付き合いいただけますよね？

じゃなかったら、これ……。

(少し笑うように)

はい、お願いします。

(ゆっくりからかいながら)

それにしてもこの状況……

なんというか、ラブラブなカップルみたいな感じですね。

相手を逃さないように足を組んで……

それに、おまんこの隙間から、精液がぽたぽたと床に……。

……ん、この体勢は恥ずいのもとに戻しますけど……。

んっ、ふう……。

おちんぽも、抜けちゃいました。

SE:おちんちん引き抜き、精液が垂れる音

先輩、これ、見てください。

精液、一気に出てきました……。

こんなに出したんですか、先輩？

私の中に。

意外と容赦ないんですね。

いくら安全日と言ってもこんな勢いで……。

んふ、いいですよ。

私からお願いなので。

それで先輩も満足してもらえるなら、あと腐れもないですね。

(締めなので温かい雰囲気で)

……ん、でも。

流石に床は綺麗にしとかないと、ですよね……。

先輩、ちょっと手伝ってもらえますか？

……ん、ありがとうございます。

